

(様式1)

山留め工事の施工計画概要書・計画変更概要書

(建築基準法第12条第5項、横浜市施行細則第17条の3)

本工事において、下記の通り安全に根切り工事及び山留め工事を行います。

年 月 日

建築主 又は 造成主	住所 氏名		
工事監理者 又は 工事責任者	住所 資格 () 級建築士事務所(大臣・知事) 登録第 号 (電話) 事務所名 資格 () 級建築士 (大臣・知事) 登録第 号 氏名 印		
工事施工者	住所 資格 建設業の許可(大臣・知事) 登録第 号 (電話) 会社名 代表者名又は 現場責任者名 印		
工事概要	工事名称		
	建築確認番号 年 月 日 第 号 当初確認番号 (第 号)		
	建築場所 又は 造成場所 用途		
	構造・規模 造、地上 階/地下 階、延面積 m ² 、擁壁の高さ m		
山留め工事の 着手予定日	年 月 日		
山留めの 存置期間	年 月 日から 年 月 日まで		
最大 根切り高さ	m		
山留め壁の種類		山留め工法の種類	
<input type="checkbox"/> 親杭横矢板 <input type="checkbox"/> 鋼矢板(シートパイル) <input type="checkbox"/> ソイルセメント柱列壁 <input type="checkbox"/> 連続地中壁 <input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="checkbox"/> 山留め壁自立工法 <input type="checkbox"/> 法付オープンカット工法 <input type="checkbox"/> 水平切りばり工法 (段) <input type="checkbox"/> アースアンカー工法(隣地承諾 済・未済/隣地に設置なし) <input type="checkbox"/> その他 ()	
<input type="checkbox"/> 近接地の崖の有無 (有・無) →崖「有」の場合 <input type="checkbox"/> 崖の影響を考慮した ※新設掘削底面より45°の線(主働すべり線)を引き、その範囲内に高さ3m 超えかつ角度30° 超えの崖がある場合は「有」にチェックをしてください。またその影響を山留め計画に考慮し「崖の影響を考慮した」にチェックをしてください。		施工及び管理の配慮事項 ※周辺状況や地下水、点検等配慮したことについて記載してください。	
緊急時連絡先	現場責任者	名前	TEL TEL (携帯)
	現場担当者	名前	TEL TEL (携帯)

※ 山留め工事の施工概要書には、①案内図②山留め平面概要図(敷地境界線、隣地高低差、山留め壁の位置、周辺敷地の状況(隣地建物の位置・規模・構造、道路、鉄道等)を記載)③断面図(根切り高さ、隣地高低差(崖がある場合は崖の角度・高さ)を記載)を添付し、下記提出先の窓口に1部提出してください。

※ 計画に変更が生じた場合には再度計画書の提出をしてください。

※ 工事により敷地外の道路や周辺家屋に被害が発生した場合は下記までご連絡ください。(深夜や休日などにはFAXでのご連絡をお願いします。)

提出先	建築物及び 下記以外の 工作物の場合	横浜市建築局建築指導課構造担当 〒231-0012 横浜市中区相生町3丁目56番地1 KDX 横浜関内ビル7階 電話: 045-671-4536 FAX: 045-681-2437
	横浜市で確認済 証の交付を受け た擁壁(工作 物)の場合	横浜市建築局宅地審査課(調整区域内の場合は調整区域課) 〒231-0012 横浜市中区相生町3丁目56番地1 KDX 横浜関内ビル6階 電話: 045-671-4515~4518 (4521、4522) FAX: 045-681-2435